

米原市地域公共交通計画 概要版

【計画の目標・進捗の管理】

本計画の達成度を評価するために目標を設定します。

また、計画期間内で社会情勢や経済情勢の変化、住民の移動需要等の様々な変化に柔軟に対応していくため、米原市地域公共交通活性化協議会においてPDCAサイクルを回していくことで、進捗管理を行います。

【計画策定の背景と目的】

本市は、県下で唯一の新幹線停車駅を有するなど、京阪神、中京、北陸を結ぶ交通の要衝として発展してきました。地域の移動手段という観点では、路線バスのほか、乗合タクシーまいちゃん号やまいちゃんバスの運行を開始するなど、地域住民の快適な移動環境の整備に取り組んできました。

運転手不足など、地域公共交通を取り巻く環境は厳しくなる一方で、高齢者や障がい者をはじめとする市民の生活に必要な不可欠な地域公共交通の果たす役割は大きく、誰もが安心して生活できる移動環境の構築が重要となることから、市民、交通事業者、行政が連携し、ともに支える地域公共交通ネットワークの実現と維持を目指し、本計画を策定します。

【本市における地域公共交通の課題】

持続可能な地域公共交通の維持および脱炭素社会の推進に向けた仕組みづくり

- 地域公共交通利用者そのものが少ないが、児童や高齢者等にとって地域公共交通はなくてはならない移動手段
- 自家用車は便利な移動手段である一方、費用負担や地球環境への悪影響も存在する。
- 地域公共交通を維持に向けた取組や積極的な利用を促す取組を進める。

地域公共交通の利便性の向上

- 地域公共交通を利用しない理由として利便性の低さが挙げられる。
- 現在の利用者や市の負担を維持する中で、利便性の向上が求められている。
- 限りある資源の中で、利用者のニーズに対応した移動手段を検討し、利便性の向上を図る。

駅周辺地域の魅力向上

- 鉄道駅を中心としたまちづくりの推進が本市の上位・関連計画で掲げられている。
- 鉄道駅は本市の交通において重要や役割を果たしている。
- 本市が住みたいまちとして選ばれるために、鉄道駅と周辺地域の魅力向上と鉄道駅までの移動手段を確保する必要がある。

【計画の基本理念】 安心な移動により 住みよさが実感できる 持続可能な地域公共交通

第2次米原市総合計画におけるまちの将来像「ともにつながり ともに創る 住みよさ実感 米原市」を達成するためには、地域公共交通を維持し、利便性の高い地域公共交通ネットワークを整備することが必要不可欠です。市の財政負担の増加や公共交通機関の運転手の担い手不足などの地域公共交通を取り巻く環境が厳しくなりつつある中で、市民、事業者、行政が一体となり、現状の負担を維持しつつ、利便性の高い効率的な運用によって積極的に地域公共交通の利用を促していきます。

【計画の基本方針】

多様な主体との共創による持続可能な地域公共交通の構築

- 市民の地域公共交通への関心を高め、市民、事業者、行政が連携し、役割分担を行いつつ、環境にも配慮した持続可能な地域公共交通を構築します。

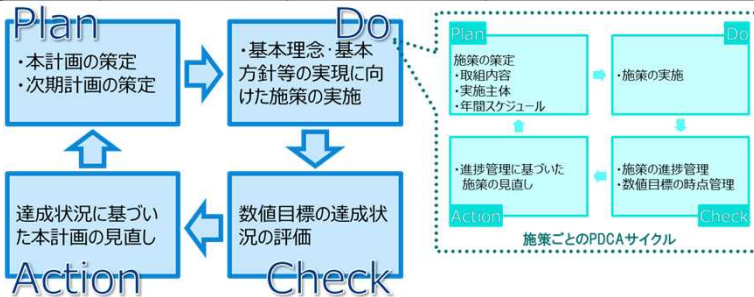
利用者のニーズに応じた利便性の向上

- 市民が利用したいと思う地域公共交通ネットワークの構築に向け、既存の地域公共交通のサービスや在り方を再検討し、市全体の地域公共交通の利便性向上を図ります。

まちづくりと連動した地域公共交通の整備

- 住み良さの実感に向け、鉄道駅や周辺地域の魅力強化とアクセシビリティの向上を目指します。

評価指標		現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	考え方
基本方針1	地域公共交通の収支率	路線バス	26.6 (%)	26.6 (%)
		乗合タクシーまいちゃん号・乗合タクシーまいちゃんバス	17.1 (%)	17.1 (%)
	公共交通対策事業費（決算額）	1.21（億円/年）	1.21（億円/年）	人件費や燃料費の高騰が進む中で令和4年度の水準を維持することで、継続可能な公共交通の構築を図る。
	乗合タクシーまいちゃん号の乗合人数	1.45（人/台）	1.50（人/台）	乗合を高めることで事業費の削減による公共交通の維持を図る。
	出前講座や乗り方教室の実施回数	4（回/年）	6（回/年）	地域公共交通に触れる機会を創出し、利用促進を進める。
基本方針2	地域公共交通の利用者数	在来線（鉄道）	5,708（人/日）	7,500（人/日）
		路線バス	118（千人）	120（千人）
	乗合タクシーまいちゃん号	43,833（人/年）	44,000（人/年）	
	乗合タクシーまいちゃんバス	1,620（人/年）	1,700（人/年）	
	市民の地域公共交通に対する不満度の低下	31.5 (%)	28.0 (%)	更なる人口減少が想定される中で令和元年度の水準への回復を目指す。 更なる人口減少が想定される中で令和4年度の利用水準の維持を目指す。 利用者にニーズに応じた利便性の向上を図ることにより地域公共交通に対する満足度の改善を目指す。
基本方針3	近江長岡駅のバリアフリー環境の改善	-	整備完了	各駅施設の環境を改善する中で、駅周辺地域の活性化を図る。
	坂田駅のホーム待合環境の改善	-	整備完了	



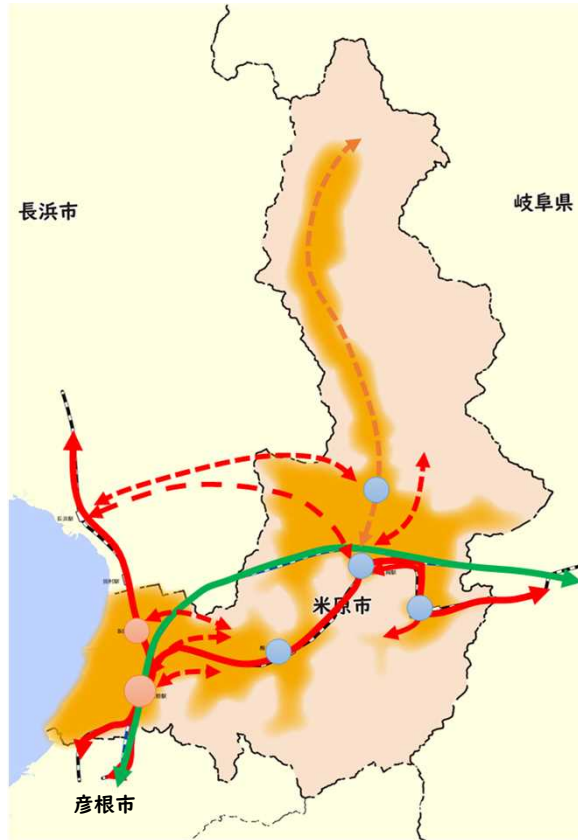
計画の進捗管理のイメージ

【計画の基本理念】 安心な移動により 住みよさが実感できる 持続可能な地域公共交通

【将来の地域公共交通ネットワーク】

一度に多くの方が移動できる「鉄道」や「路線バス」を幹線として、市民や市外住民の積極的な利用促進を図ることにより、脱炭素の取組を進めるとともに、地域公共交通の維持につなげます。

また、「乗合タクシーまいちゃん号」は、多くの停留所があるなど、利便性が高い一方で、運行に多額の費用が必要となることから、高齢者、体の不自由な方、学生などの移動支援が必要な方を中心に利用していただけるよう、制度の周知を図ります。



基本方針1 多様な主体との共創による持続可能な地域公共交通の構築

◆地域公共交通の維持に向けた資金確保
 ・国と滋賀県、近隣自治体との協調によるバス路線の維持
 ・運賃外収入の確保に向けた取組の実施



◆乗合タクシーまいちゃん号の運行方式の効率化
 ・移動実態に基づいた効率的な運行方式への見直し



◆地域資源の活用による移動手段の確保に向けた検討
 ・企業が運行している送迎車両等の有効活用
 ・ライドシェアを含めた住民助け合いによる移動支援サービスの研究

◆市民に対する地域公共交通への意識醸成

- ・出前講座や体験乗車会等の実施
- ・地域公共交通への関心を高める取組の実施
- ・市広報誌やYouTube、SNSを活用した地域公共交通の情報発信
- ・高齢者の運転免許自主返納の促進



◆脱炭素社会の実現に向けた取組
 ・環境負荷低減車両（EVバスなど）の導入

◆運転手の確保・育成に向けた支援
 ・学校等への出前講座による地域公共交通の現状紹介
 ・運転手の就職説明会の開催支援
 ・運転手募集のポスター等の掲示
 ・免許取得の支援制度の検討



◆鉄道・路線バスの利用促進
 ・モビリティ・マネジメントの実施による地域公共交通の利用促進
 ・米原駅を活用した広域周遊観光等の利用促進



基本方針2 利用者のニーズに応じた利便性の向上

◆デジタル技術を用いたサービスの活用
 ・交通系ICカードの利用促進
 ・バスロケーションシステムの導入検討
 ・MaaS導入に向けた環境整備
 ・マイナンバーカードを活用した利用促進の研究

◆ユニバーサルデザイン車両の導入支援
 ・国や県の制度を活用したユニバーサルデザイン車両の導入支援

◆利用実態に応じたバス路線の見直し
 ・利用実態に応じた運行ダイヤ等の見直し

◆乗合タクシーまいちゃん号の利便性向上
 ・予約制度の改善検討
 ・専用車両の導入検討
 ・市外移動の利便性向上



◆ターゲットに応じた利用促進事業の実施
 ・市内学校における共通通学定期券
 ・福祉有償運送制度の周知



基本方針3 まちづくりと連動した地域公共交通の整備

◆鉄道駅および周辺地域の整備

- ・鉄道駅のバリアフリー化
- ・駅周辺の賑わい創出



◆地域公共交通間の接続性の改善

- ・TETTE MAIBARAの活用
- ・駅およびバス停の待合環境の改善
- ・鉄道ダイヤの改正に合わせたバスダイヤの調整



◆観光や商業施設、企業等との連携

- ・地域公共交通を利用した観光の推進
- ・観光施設や商業施設と連携した利用促進

◆パークアンドライドの推進

- ・鉄道駅における駐車場・駐輪場の活用

名称	考え方	モード	現行の路線等
地域公共交通	広域幹線	新幹線	東海道新幹線
	幹線（鉄道）	鉄道	東海道本線 北陸本線 近江鉄道
	幹線（路線バス）	路線バス	近江長岡線 米原多和田線 伊吹登山口線 米原工業団地線 長岡登山口線 梓河内線
	支線（乗合タクシーまいちゃん号・乗合タクシーまいちゃんバス・一般タクシー）	乗合タクシーまいちゃん号 乗合タクシーまいちゃんバス 一般タクシー	
その他	福祉交通	福祉有償運送	